

JPPF 国際人口問題議員懇談会

The Japan Parliamentarians Federation for Population

NEWS LETTER

No.41 December 2015

IPPF シリアでの活動を報告

国際人口問題議員懇談会 (JPPF) は、11月20日、テウオドロス・メレッセ国際家族計画連盟 (IPPF) 事務局長、リーム・ファヤラ IPPF アラブ地域事務局渉外部長らを迎え、合同部会を開催しました。IPPF は世界最大級の国際保健 NGO (非政府組織) 団体として、172 か国でセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス (SRH) に関するサービス提供、啓発や教育、政策提言活動を行っており、JPPF とはその創設時より 40 年来の協力関係にあり、JPPF 活動を長年支援してくださっています。

冒頭、谷垣禎一 JPPF 会長は、11月14日にパリで起きたテロの犠牲者に対して哀悼の意を表しました。それに関連し、テロの背景には、人口増加と失業問題によって、未来に希望が持てないといった社会状況があることを指摘し、



「JPPF が取り組む人口問題は一人ひとりの生活や権利を確保するだけでなく、テロなどをはじめとする安全保障の問題への基本的対処そのものである」と述べました。

次に、メレッセ IPPF 事務局長は、IPPF に対する日本政府および国会議員からの支援に対する感謝の言葉を述べ、さらに「今、谷垣会長がおっしゃったように、IPPF が活動している RH・家族計画の分野は、平和の中心に据えるべき課題であり、日本政府が掲げている人間の安全保障を実現するために重要な要素であると考えている。引き続き、日本のビジョンと IPPF の取り組みを連携させ、パートナーシップを強化していくことを願っている」と挨拶を述べました。

ファヤラ渉外部長からは、アラブ地域での活動報告が行われ、「IPPF アラブ地域事務局がカバーする 14 か国のうち、現在 5 か国が紛争状態にあります。特に深刻なのはシリアで、人道的援助を必要とする人々は 1200 万人にも上ります。国内避難民、



国外に逃れた難民のうち、女性、子どもが 75%を占め、妊産婦死亡率の上昇、治安やジェンダーに基づく暴力（GBV）の問題、社会的サービスを利用できない状況といった困難に直面しています。インフラが破壊され、60%の病院が破壊されてしまった中、30 年前から活動を行っている IPPF 加盟団体であるシリア家族計画連盟は、平時では 20 か所だったクリニックを、紛争中の現在 74 クリニック（移動型も含む）まで拡充し、IS の支配地域を含め、RH サービス、母子保健、産前産後ケア、HIV を含む性感染症などの包括的なサービス提供を行っています。紛争が長期化する中、思春期の女性や妊産婦は厳しい状況に直面しています」と現状を報告した上で、これまでの日本の支援に感謝するとともに、一層の支援を要請しました。



続いて、武見敬三 JFPF 幹事長・人口と開発に関するアジア議員フォーラム（AFPPD）議長から、来年 4 月に予定をしている G7 国際国会議員会議の概要および今後の予定について報告が行われました。

また来日中、メレッセ事務局長らは、福田康夫 JFPF 名誉会長、増子輝彦 JFPF 副会長、長浜博行 JFPF 副会長、武見敬三 JFPF 幹事長・AFPPD 議長、阿部俊子 JFPF 副幹事長、島尻安伊子 沖縄・北方担当大臣・JFPF 事務総長、川田龍平 JFPF 幹事、牧島かれん 内閣府大臣政務官政務官・JFPF 女性問題副副会長、黄川田仁志 外務大臣政務官を表敬訪問し、IPPF の取り組みについて意見交換を行いました。





国際人口問題議員懇談会(JFPF)事務局
 (公財) アジア人口・開発協会(APDA)

TEL: 03-5405-8846

FAX: 03-5405-8845

E-mail: apda@apda.jp

Website: <http://www.apda.jp>

入会をご希望の方は、apda@apda.jp までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

尚、本ニュースレターの配信停止をご希望の方は apda@apda.jp までお願いいたします。